

## 長崎省吾 辞令等

※長崎省吾関係文書以外からの情報はゴシック体で記入

嘉永5年11月12日(1852年12月12日)生まれ

昌平大学(資料番号165-3:助八郎)、ミシガン大学

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
明治9年(1876)	明治9年5月9日	在英国公使館附書記二等見習申付候事	外務省	長崎省吾			433 1	
明治11年(1878)	明治11年1月17日	書記一等見習申付候事	外務省	長崎省吾	書記二等見習		433 2	
明治12年(1879)	明治12年12月12日	任外務三等書記生	宮本小一(外務大書記官従五位勲四等)	長崎省吾			433 3	
	明治12年12月12日	英国龍動公使館在勤申付候事	外務省	長崎省吾	外務三等書記生		433 4	
	明治12年12月22日	御用有之帰朝可致事	外務省	長崎省吾	外務三等書記生		433 5	
明治13年(1880)	明治13年6月15日	英国龍動公使館在勤差免候事	外務省	長崎省吾	外務三等書記生		433 6	
	明治13年12月23日	依願免本官	外務省	長崎省吾	外務三等書記生		433 7	
	明治13年12月23日	宮内省御用掛被仰付候事 但奏任官ニ準シ取扱候事	宮内省	長崎省吾			433 8	
	明治13年12月23日	式部寮御用掛兼勤被仰付候事 但奏任官ニ準シ取扱候事	宮内省	長崎省吾	宮内省御用掛		433 9	
	明治13年12月23日	一ヶ月金四拾五円下賜候事	宮内省	長崎省吾	宮内省御用掛式部寮御用掛兼勤		433 10	
明治14年(1881)	明治14年2月26日	任四等掌典	三條実美(太政大臣従一位勲一等):宣/作間一介(内閣大書記官従五位):奉/太政官:印	長崎省吾			433 11	
	明治14年2月26日	宮内省御用掛被仰付候事 但月俸五拾五円下賜事	太政官	長崎省吾	四等掌典長		433 12	
	明治14年2月28日	布哇国皇帝来航ニ付接伴掛被仰付候事	太政官	長崎省吾	四等掌典長		433 13	
	明治14年3月11日	布哇国皇帝近々横浜出帆ニ付長崎港迄随行被仰付候事	宮内省	長崎省吾	宮内省御用掛兼勤四等掌典長		433 14	
	明治14年3月25日	叙正七位	三條実美(太政大臣従一位勲一等):宣/作間一介(内閣大書記官従五位):奉/太政官:印	長崎省吾			433 15	
	明治14年5月17日	文部省御用掛被仰付候事	太政官	長崎省吾	四等掌典長		433 16	
	明治14年5月17日	東京女子師範学校立礼取調掛勤務可致事	文部省	長崎省吾	御用掛		433 17	
	明治14年5月25日	任宮内権少書記官	三條実美(太政大臣従一位勲一等):宣/作間一介(内閣大書記官従五位):奉/太政官:印	長崎省吾	四等掌典正七位		433 18	
	明治14年5月25日	外事掛被仰付候事	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 19	
	明治14年7月20日	布哇国皇帝陛下ヨリ贈与シタルカラカハ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	三條実美(太政大臣兼賞勲局総裁従一位勲一等)/大給恒(議官兼賞勲局副総裁従四位勲二等)	長崎省吾	宮内権少書記官正七位		411 付属資料	
	明治14年7月27日	当分内膳内廷両課長兼勤被仰付候事	宮内省	長崎省吾	外事掛宮内権少書記官		433 20	
	明治14年9月7日	英国皇孫来航ニ付接伴常侍委員兼接伴事務委員被仰付候事	太政官	長崎省吾	宮内権少書記官		433 21	
	明治14年10月14日	当分内膳内廷両課長兼勤被仰付置候処被免候事	宮内省	長崎省吾	外事掛宮内権少書記官		433 22	
明治14年10月28日	英国皇孫殿下帰航ニ付送行トシテ神戸表へ出張被仰付候事 但時宜ニヨリ長崎辺迄出張可致事	宮内省	長崎省吾	接伴常侍兼事務委員 宮内権少書記官		433 23		
明治15年(1882)	明治15年1月11日	御用有之米國へ被差遣候事	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 24	
	明治15年2月4日	勲六等単光旭日章		長崎省吾			国立公文書館 類00004100	朝日新聞1882年2月11日
	明治15年2月20日~6月12日	米國・ハワイ					133 1	出発日:国立公文書館(公03427100)/帰朝日:朝日新聞1882年6月18日
	明治15年7月18日	布哇国皇帝陛下ヨリ贈与シタルガラントフキシエドカラカハ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	三條実美(太政大臣兼賞勲局総裁従一位勲一等)/大給恒(議官兼賞勲局副総裁従四位勲二等)	長崎省吾	宮内権少書記官正七位勲六等		433 25	
	明治15年9月26日	御遊獵場御用掛被仰付候事	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 26	
明治15年12月6日	特命全權公使杉孫七郎布哇國へ被差遣候ニ付随行被仰付候事	太政官	長崎省吾	宮内権少書記官		433 27		
明治16年(1883)	明治16年4月19日	四月十九日宮内省権少書記官長崎省吾布哇國ヨリ帰朝セシ旨ヲ稟報ス宮内権少書記官長崎省吾稟報私儀特命全權公使杉孫七郎へ随行布哇國へ被差遣候御用濟本日帰朝候条此段御届申上候也官吏雜件		長崎省吾			国立公文書館 類00096100	
	明治16年5月2日	外事課副長兼勤被仰付候事	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 28	
	明治16年5月2日	内廷課長兼勤被仰付候事 但外事課副長従前之通	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 29	
	明治16年5月22日	布哇国皇帝ヨリ贈与シタルハイ・グランドフキシシルカピオラー勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	三條実美(太政大臣兼賞勲局総裁従一位勲一等)/大給恒(議官兼賞勲局副総裁従四位勲二等)	長崎省吾	宮内権少書記官正七位勲六等		433 30	
	明治16年8月27日	御用有之日光辺へ被差遣候事	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 31	
明治16年11月5日	御用有之日光辺へ被差遣候事	宮内省	長崎省吾	宮内権少書記官		433 32		
明治16年12月10日	寺島宗則次女多恵と結婚							

長崎省吾 辞令等

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
	明治16年12月18日	補式部寮七等出仕兼任四等掌典	三条実美 (太政大臣従一位勲一等):宣/作間一介 (内閣大書記官従五位勲五等):奉/太政官:印	長崎省吾	宮内権少書記官正七位勲六等		433 33	
明治17年 (1884)	明治17年2月13日	兼任三等掌典	三条実美 (太政大臣従一位勲一等):宣/作間一介 (内閣大書記官従五位勲五等):奉/太政官:印	長崎省吾	式部寮七等出仕兼四等掌典正七位勲六等		433 34	
	明治17年3月29日	叙従六位	三条実美 (太政大臣従一位勲一等):宣/作間一介 (内閣大書記官従五位勲五等):奉/太政官:印	長崎省吾	正七位勲六等		433 35	
	明治17年7月30日	御用有之北海道へ被差遣候事	宮内省	長崎省吾	式部寮七等出仕		433 36	
	明治17年10月3日	任式部官	熾仁親王 (左大臣二品大勲位):宣/金井之恭 (内閣大書記官従五位勲五等):奉/太政官:印	長崎省吾	従六位勲六等		433 37	
	明治17年10月3日	六等官相当年俸千式百円下賜候事	太政官	長崎省吾	式部官		433 38	
	明治17年10月24日	文部省御用掛兼勤被免候事	太政官	長崎省吾	式部官		433 39	
	明治17年10月24日	東京女子師範学校御用掛兼勤被仰付候事	太政官	長崎省吾	式部官		433 40	
	明治18年 (1885)	明治18年5月25日	瑞典国兼諾威国皇帝陛下ヨリ贈与シタル北極星第三等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	柳原前光 (賞勲局総裁従三位勲二等伯爵) / 大給恒 (元老院議官賞勲局副総裁従四位勲二等子爵)	長崎省吾	式部官従六位勲六等		433 41
明治18年9月22日		東京師範学校御用掛兼勤被仰付候事	太政官	長崎省吾	式部官		433 42	
明治18年9月22日		東京女子師範学校御用掛兼勤被免候事	太政官	長崎省吾	式部官		433 43	
明治19年 (1886)	明治19年2月15日	奏任二等年俸千八百円下賜	宮内省	長崎省吾	式部官		433 44	
	明治19年5月7日	除服出仕	宮内省	長崎省吾	式部官		433 45	
	明治19年7月8日	叙正六位	伊藤博文 (内閣総理大臣従三位勲一等伯爵):宣/内閣:印	長崎省吾	従六位勲六等		433 46	
明治20年 (1887)	明治20年3月18日	独逸国皇族フレドリックレオポール親王殿下航ニ付接待掛ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	式部官		433 47	
	明治20年4月15日	兼任宮内大臣秘書官	伊藤博文 (宮内大臣従二位勲一等伯爵):宣/桜井能監 (宮内書記官正五位勲五等):奉/宮内省:印	長崎省吾	式部官正六位勲六等		433 48	
	明治20年7月18日	奈良及京都辺へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	式部官		433 49	
	明治20年10月5日	独逸国皇帝陛下ヨリ贈与シタル王冠第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	柳原前光 (賞勲局総裁従三位勲二等伯爵) / 大給恒 (元老院議官兼賞勲局副総裁従三位勲二等子爵)	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官正六位勲六等		433 50	
明治21年 (1888)	明治21年1月21日	暹羅国王陛下ヨリ贈与シタル王冠第三等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	柳原前光 (賞勲局総裁従三位勲二等伯爵) / 大給恒 (賞勲局副総裁従三位勲二等子爵)	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官正六位勲五等		433 51	
	明治21年2月22日	皇居御引移御用掛被仰付候事	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 52	
	明治21年3月8日	兼任式部主事 兼宮内大臣秘書官如故	土方久元 (宮内大臣従二位勲一等子爵):宣/宮内省:印	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官正六位勲五等		433 53	
	明治21年3月8日	奏任二等中級俸下賜	宮内省	長崎省吾	式部主事		433 54	
	明治21年4月20日	兼任主獵局主事 兼宮内大臣秘書官式部主事如故	土方久元 (宮内大臣従二位勲一等子爵):宣/宮内省:印	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官正六位勲五等		433 55	
	明治21年5月16日	兼任小松宮家令 兼宮内大臣秘書官式部主事主獵局主事如故	土方久元 (宮内大臣従二位勲一等子爵):宣/宮内省:印	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官式部主事主獵局主事正六位勲五等		433 56	
	明治21年7月26日～8月8日	上信及陸奥旅行					169 1	
	明治21年10月26日	宮内大臣子爵土方久元京坂辺へ被差遣候ニ付随行ヲ命ス (明治21年11月4日～12月4日)	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 57	
明治22年 (1889)	明治22年2月13日	故文部大臣従二位勲一等子爵森有礼贈位賜金幣勅使被仰付候事	宮内省	長崎省吾	式部官		433 58	
	明治22年3月16日	賜上級俸	宮内省	長崎省吾	式部主事		433 59	
	明治22年7月6日	防海ノ事業ヲ賛成シ宮内省奏任官八十九名共同金式千円献納候段奇特ニ候事	柳原前光 (賞勲局総裁従三位勲一等伯爵) / 大給恒 (賞勲局副総裁従三位勲二等子爵)	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官式部主事主獵局主事小松宮家令正六位勲五等		433 60	
	明治22年7月16日～25日	湯ヶ原旅行					169 2	
	明治22年7月23日	任宮内大臣秘書官兼式部官 兼主獵局主事小松宮家令如故	土方久元 (宮内大臣従二位勲一等子爵):宣/宮内省:印	長崎省吾	式部官兼宮内大臣秘書官式部主事主獵局主事小松宮家令正六位勲五等		433 61	
	明治22年7月23日	叙奏任官二等賜二級俸	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 62	
	明治22年7月23日	宮内書記官事務補助ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 63	
	明治22年7月31日	式部職事務兼勤ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 64	
明治22年9月5日	除服出仕	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 65		
明治22年10月4日	京都行幸行啓供奉ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 66		
明治23年3月6日	京都府愛知県へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 67		
明治23年3月8日	陸海軍連合大演習ニ付外賓接待委員ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 68		

長崎省吾 辞令等

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
明治23年 (1890)	明治23年4月10日	吳佐世保両鎮守府及江田島海軍兵学校行幸供奉ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 69	
	明治23年10月23日	宮内大臣子爵土方久元茨城県下行幸行啓供奉ニ付隨行ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 70	
	明治23年12月21日	興福会談山神社保存会委員及御依囑候也	九条道孝(興福会談山神社保存会会長)	長崎省吾	正六位		433 71	
	明治23年12月21日	春日神社保存会委員及御依囑候也	徳大寺実則(春日神社保存会会長)	長崎省吾	正六位		433 72	
明治24年 (1891)	明治24年3月18日	叙奏任官一等賜四級俸	土方久元(宮内大臣従二位勲一等子爵):宣/宮内省:印	長崎省吾	宮内大臣秘書官正六位勲五等		433 73	
	明治24年3月18日	兼補調査課次長	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 74	
	明治24年5月12日	京都市行幸供奉ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		433 75	
	明治24年6月1日	土耳其国皇帝陛下ヨリ贈与シタル美治慈恵第三等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	大給恒(賞勲局副総裁従三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令正六位勲五等		433 76	
	明治24年10月22日	宮内次官花房義實神奈川縣下行幸供奉ニ付隨行ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		434 1	
	明治24年11月16日	愛知岐阜両県下へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		434 2	
	明治24年12月7日	叙従五位	土方久元(宮内大臣従二位勲一等子爵):宣/宮内省:印	長崎省吾	正六位勲五等		434 3	
明治24年12月22日	賜三級俸	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		434 4		
明治25年 (1892)	明治25年4月11日	露西亜国皇帝陛下ヨリ贈与シタル神聖安那第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	西園寺公望(賞勲局総裁正三位勲二等侯爵)/大給恒(賞勲局副総裁従三位勲一等子爵)	長崎省吾			294	
	明治25年7月15日	今般本社常議会ニ於テ貴下ヲ特撰幹事ニ撰挙シ即上奏ヲ経候間領諾相成度此段及囑托候也	彰仁親王(日本赤十字社総裁大勲位)	長崎省吾			445	
	明治25年8月13日	宮内大臣子爵土方久元北海道へ出張ニ付隨行ヲ命ス(明治25年8月20日~10月11日)	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		434 5	
明治26年 (1893)	明治26年3月28日	式部職事務兼勤宮内大臣秘書官	宮内省	長崎省吾	式部職事務兼勤宮内大臣秘書官		435 1	
	明治26年4月13日	第四回内国勸業博覧会事務官被仰付	内閣	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令		435 2	
	明治26年6月12日	[通知 幹事当選]	日本赤十字社	長崎省吾			446	
	明治26年6月23日	依仁親王欧米へ被差遣候ニ付隨行被仰付 ※小松宮依仁親王 欧米派遣、軍事研究および制度文物視察[出国:明治26年(1893)8月4日 帰国:明治27年(1894)9月26日]	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官小松宮家令		435 3	
明治27年 (1894)	明治27年2月27日	明治二十四年十月震災ノ節愛知岐阜両県下被害者救助トシテ金拾円施与候段奇特ニ付為其賞木杯老個下賜候事	西園寺公望(賞勲局総裁従二位勲二等侯爵)/大給恒(賞勲局副総裁従三位勲一等子爵)	長崎省吾	従五位勲四等		457 1	
	明治27年7月11日	免調査課次長	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官調査課次長		435 4	
	明治27年10月30日	白耳義国皇帝陛下ヨリ贈与シタルコンマンドールド ロルドドレオポール勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	荷蘭国皇帝陛下ヨリ贈与シタルコンマンドールド ロルドドオランジュナツサー勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	丁抹国皇帝陛下ヨリ贈与シタルコンマンドールド スゴンドクラス ド ロルドド ダネブロック勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	瑞典国兼諾威国皇帝陛下ヨリ贈与シタルコンマンドールド スゴンドクラス ド ロルドド サンオラフ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	独逸国皇帝陛下ヨリ贈与シタルコロネン オルデン ミツツステルン オルデン ツヴハイテルクラッセ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	索遜国王陛下ヨリ贈与シタルコンマンドールド スゴンドクラス ド ロルドド アルブレクト勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	索斯匯馬耳国大公殿下ヨリ贈与シタルコムツール ミツツステルンウバイセン ファルケン勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	土耳其国皇帝陛下ヨリ贈与シタル美治慈恵第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	澳地利国皇帝陛下ヨリ贈与シタルダス コンツール クロイツ ミツツステルン アルフレヘヒステイレーレス フランツジョゼフ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年10月30日	西班牙国皇帝陛下ヨリ贈与シタルコンマンドール エキストラ オルヂネール ド ロルドド シャルトロワー勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒(賞勲局副総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式部官主獵局主事小松宮家令従五位勲四等		294	
	明治27年11月1日	明治廿八年度予算取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		435 5	
	明治27年11月7日	御留守中内事課事務補助ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		435 6	

長崎省吾 辞令等

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
	明治27年12月24日	塞耳維国皇帝陛下ヨリ贈与シタル コンマンドル フアルストクラス タクウオ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用ス ルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局副総裁 正三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事小松 宮家令従五位勲四等		294	
明治28年 (1895)	明治28年1月8日	広島大本営へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		436	1
	明治28年1月11日	齊藤宮内大臣秘書官不在中供奉書 記官補助ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		436	2
	明治28年1月21日	齊藤宮内大臣秘書官不在中供奉被 仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		436	3
	明治28年3月19日	叙二等	土方久元 (宮内大臣従 二位勲一等子爵):奉/ 御璽	長崎省吾	式部官従五位勲四等		436	4
	明治28年3月21日	征清大総督彰仁親王殿下随員被仰 付	宮内省	長崎省吾	大臣秘書官兼式部官 小松宮家令		436	5
	明治28年3月21日	小松宮別当事務兼勤被仰付	宮内省	長崎省吾	大臣秘書官兼式部官 小松宮家令		436	6
	明治28年3月22日	大本営附被仰付	陸軍省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官		436	7
	明治28年4月20日	叙正五位	土方久元 (宮内大臣従 二位勲一等子爵):宣/ 宮内省:印	長崎省吾	従五位勲四等		436	8
	明治28年6月27日	免兼小松宮家令	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事小松 宮家令		436	9
	明治28年6月27日	小松宮別当事務兼勤被免	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官		436	10
	明治28年7月5日	京都本局出張所へ出張ヲ命ス	第四回内国勲業博覧会 事務局	長崎省吾	第四回内国勲業博覧 会事務局		436	11
	明治28年7月14日	大阪府へ出張ヲ命ス	第四回内国勲業博覧会 事務局	長崎省吾	第四回内国勲業博覧 会事務局		436	12
	明治28年7月27日	京都本局出張所へ出張ヲ命ス	第四回内国勲業博覧会 事務局	長崎省吾	事務局		436	13
	明治28年7月31日	大本営附被免	内閣	長崎省吾	式部官		436	14
	明治28年10月	従二位伯爵井上馨朝鮮国へ被差遣 候ニ付随員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官		436	15
	明治28年10月31日	伊太利国皇帝陛下ヨリ贈与シタル 王冠第三等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用 スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正 三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事正五 位勲四等		294	
	明治28年11月25日	事務格別勲励ニ付金三百円賞与ス	第四回内国勲業博覧会 事務局	長崎省吾	事務局		457	2
明治28年12月4日	明治二十七八年事件ノ功ニ依リ勲 三等旭日中綬章ヲ授ケ賜フ	大給恒 (賞勲局総裁正 三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事正五 位勲四等		436	16	
明治28年12月4日	天佑ヲ保有シ万世一系ノ帝祚ヲ踐 タル日本国皇帝ハ宮内大臣秘書官 兼式部官主猟局主事従五位勲四等 長崎省吾ヲ明治勲章ノ勲三等ニ叙 シ旭日中綬章ヲ授与ス即チ此位ニ 属スル礼遇及ヒ特権ヲ有セシム	大給恒 (賞勲局総裁正 三位勲一等子爵) /御 名御璽	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事正五 位勲四等	勲記箱 (木箱)	656		
明治28年12月26日	賜二級俸	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		436	17	
明治29年 (1896)	明治29年3月6日	帝室技芸員選抜委員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官		437	1
	明治29年3月31日	宮内大臣伯爵土方久元京都府並兵 庫奈良両県へ出張ニ付随員ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		437	2
	明治29年5月15日	東京慈恵医院理事被仰付候事		長崎省吾	正五位		447	1
	明治29年7月20日	浜離宮建築取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		437	3
	明治29年8月20日	土耳其皇帝陛下ヨリ贈与シタル救 難章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正 三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事正五 位勲三等		294	
明治30年 (1897)	明治30年1月15日	兼任大喪使事務局	土方久元 (宮内大臣正 三位勲一等伯爵):奉/ 御璽	長崎省吾	式部官正五位勲三等		438	1
	明治30年1月28日	皇太后陛下御柩供奉被仰付	大喪使	長崎省吾	大喪使事務局		438	2
	明治30年1月29日	大宮御所御著柩迄ノ間諸陵頭代理 被仰付	大喪使	長崎省吾	大喪使事務局		438	3
	明治30年4月13日	京都行幸行啓供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		438	4
	明治30年9月16日	兼任調度局長兼式部官如故 叙二 等賜三級俸	土方久元 (宮内大臣正 二位勲一等伯爵):奉/ 御璽	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官主猟局主事正五 位勲三等		438	5
	明治30年10月22日	臨時御料地整理審議委員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		438	6
	明治30年11月8日	茨城県下へ被差遣	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官		438	7
	明治30年11月12日	明治三十一年度予算取調委員被仰 付	宮内省	長崎省吾	調度局長		438	8
	明治30年12月28日	常宮周宮御用掛被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		438	9
	明治30年12月28日	故従一位公爵島津忠義葬儀掛被仰 付	内閣	長崎省吾	調度局長		438	10
明治30年12月28日	鹿児島出張被仰付	内閣	長崎省吾	故従一位公爵島津忠 義葬儀掛		438	11	
明治31年 (1898)	明治31年2月23日	内匠頭股野琢不在中代理被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		439	1
	明治31年4月27日	伊太利国皇帝陛下ヨリ贈与シタル 王冠第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用 スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正 三位勲一等子爵)	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼調 度局長式部官正五位 勲三等		294	
	明治31年5月5日	皇族令取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		439	2
	明治31年6月17日	〔認定書 日本赤十字社終身社 員〕	佐野常民 (日本赤十字 社長)	長崎省吾	正社員		448	
	明治31年6月21日	東宮御所御造営調査委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		439	3
	明治31年8月4日	大阪府下へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		439	4
	明治31年9月10日	任調度局長兼式部官如故 叙二等 賜三級俸	田中光顕 (宮内大臣正 三位勲一等子爵):奉/ 御璽	長崎省吾	宮内大臣秘書官兼式 部官調度局長正五位 勲三等		439	5
	明治31年9月10日	兼任宮内大臣秘書官 叙三等	田中光顕 (宮内大臣正 三位勲一等子爵):奉/ 宮内省:印	長崎省吾	調度局長兼式部官正 五位勲三等		439	6
	明治31年10月20日	京都大坂及ヒ名古屋へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		439	7
	明治31年11月7日	静岡へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		439	8

長崎省吾 辞令等

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
	明治31年11月10日	大坂行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		439 9	
	明治31年12月5日	明治三十二年度予算取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		439 10	
	明治31年12月28日	賜二級俸	宮内省	長崎省吾	調度局長		439 11	
明治32年 (1899)	明治32年1月11日	神奈川県下酒匂へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		440 1	
	明治32年1月12日	故多喜子内親王殿下御葬祭會計主務官ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		440 2	
	明治32年2月13日	二十五年紀祝典取調委員ヲ囑託ス	彰仁親王 (日本赤十字社総裁)	長崎省吾			447 2	
	明治32年4月21日	清国皇帝陛下ヨリ贈与シタル第二等第一双龍宝星ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官正五位勲三等		294	
	明治32年5月1日	東宮御所造営調査委員被免	宮内省	長崎省吾	調度局長		440 3	
	明治32年6月22日	独逸国ハインリッヒ親王殿下下来航ニ付接伴員被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		440 4	
	明治32年7月2日	栃木県下日光へ出張ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	式部官		440 5	
	明治32年7月5日	御用有之岐阜滋賀奈良京都大坂兵庫ノ府県へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		440 6	
	明治32年12月5日	明治三十三年度予算取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		440 7	
	明治33年 (1900)	明治33年2月11日	東宮婚儀御用掛被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		441 1
明治33年4月20日		叙従四位	田中光顕 (宮内大臣正三位勲一等子爵):奉/御璽	長崎省吾	正五位勲三等		441 2	
明治33年4月24日		兵庫県下行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		441 3	
明治33年4月24日		兵庫県下行幸會計主務官ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		441 3	
明治33年5月22日		東宮御婚儀御用掛残務取扱被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		441 4	
明治33年6月21日		土耳其国皇帝陛下ヨリ贈与シタルメヂジエ第一等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
明治33年7月21日		[認定書 日本赤十字社特別社員]	彰仁親王 (日本赤十字社総裁大勲位)/佐野常民 (日本赤十字社長従二位勲一等伯爵)	長崎省吾	正五位勲三等		447 3	
明治33年12月10日		明治34年度予算取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		441 5	
明治33年12月21日		東宮御婚儀御用掛残務取扱被免	宮内省	長崎省吾	調度局長		441 6	
明治33年12月22日		賜一級俸	宮内省	長崎省吾	調度局長		441 7	
明治34年 (1901)	明治34年4月16日	明治三十七八年戦役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ出征軍人ノ家族遺族及病兵救護ノ為メ帝国軍人援護會ヲ經テ金壹百円寄付候段奇特ニ候条其賞トシテ木杯壹組下賜候事	大給恒 (賞勲局総裁従二位勲一等子爵)	長崎省吾	正四位勲二等		488 2	
	明治34年5月17日	法朗西共和国政府ヨリ贈与シタルコンマンドール ド ロルドル ナショナル ドラレヂヨンドノール勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
	明治34年10月21日	二十五年紀祝典取調委員ヲ解囑ス	彰仁親王 (日本赤十字社総裁)	長崎省吾			451	
	明治34年11月3日	宮城県下行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		442 1	
	明治34年11月3日	宮城県下行幸會計主務官ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		442 2	
	明治34年11月8日	本年十月別格官幣照国神社改築費金百円寄付候段奇特ニ付為其賞木杯壹組下賜候事	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	従四位勲三等		488 1	
	明治34年12月5日	[通知 日本赤十字社理事]	日本赤十字社	長崎省吾			452	
明治35年 (1902)	明治35年2月1日	彰仁親王殿下大不列顛国皇帝皇后両陛下戴冠式参列トシテ被差遣候ニ付隨行被仰付 ※小松宮彰仁親王 イギリス皇帝エドワード7世戴冠式およびスペイン差遣 [出国:明治35(1902)年4月19日 帰国:明治35(1902)年8月26日]	宮内省	長崎省吾	調度局長兼式部官		442 3	
	明治35年2月12日	大不列顛国皇帝皇后両陛下戴冠式参列費會計主務官ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	調度局長		442 4	
	明治35年10月4日	明治三十三年清国事変救護ニ際シ尽力アリシ勞ヲ慰スル為銀製時計壹個贈与ス	彰仁親王 (日本赤十字社総裁大勲位功二級)	長崎省吾			447 4	
	明治35年10月13日	伊太利国皇帝陛下ヨリ贈与シタルサンモーリスエラザル第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
	明治35年10月13日	西班牙国皇帝陛下ヨリ贈与シタルイザベル ラ カトリック第一等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
	明治35年10月13日	露西亞国皇帝陛下ヨリ贈与シタル神聖スタニスラス第一等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
	明治35年10月13日	法朗西共和国政府ヨリ贈与シタルレトアルノアル第二等勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
	明治35年10月18日	[通知 有功章贈与]	彰仁親王 (日本赤十字社総裁大勲位功二級)/佐野常民 (日本赤十字社長従二位勲一等伯爵)	長崎省吾	従四位勲三等		447 5	
	明治35年10月28日	大不列顛国皇帝皇后両陛下戴冠式記念章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294	
	明治35年11月1日	熊本県下行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		442 5	
明治35年12月27日	白耳義皇帝陛下ヨリ贈与シタルグランオブヒシエード ロルドル ド クーロンヌ勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁正三位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官従四位勲三等		294		
明治36年 (1903)	明治36年4月4日	京都大坂二府並兵庫県下行幸及京都行啓供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		442 6	

長崎省吾 辞令等

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
明治37年 (1904)	明治37年1月28日	臨時博覧会評議員被仰付	内閣	長崎省吾	調度局長		442 7	
	明治37年2月16日	兼任宮中顧問官 叙一等	田中光顕 (宮内大臣從二位勲一等子爵) /御璽	長崎省吾	調度局長兼式部官宮内大臣秘書官從四位勲三等		442 8	
	明治37年2月20日	日本赤十字社篤志看護婦人会協議委員ヲ囑託ス	彰仁親王妃頼子 (日本赤十字社篤志看護婦人会総裁)	長崎省吾			447 6	
	明治37年9月5日	兵庫広島両県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		442 9	
	明治37年12月27日	天佑ヲ保有シ万世一系ノ帝祚ヲ踐タル日本国皇帝ハ調度局長兼宮中顧問官式部官宮内大臣秘書官從四位勲三等長崎省吾ヲ明治勲章ノ勲二等ニ叙シ瑞宝章ヲ授与ス即チ此位ニ属スル礼遇及ヒ特權ヲ有セシム	大給恒 (賞勲局総裁從二位勲一等子爵) /御名御璽	長崎省吾	調度局長兼宮中顧問官式部官宮内大臣秘書官從四位勲三等	勲記箱 (木箱)	657	
明治38年 (1905)	明治38年4月1日	明治三十七八年戦役ノ際軍需品寄付候段奇特ニ候事	千家尊福 (東京府知事正三位勲三等男爵)	長崎省吾	從四位勲三等		457 3	
	明治38年5月1日	叙正四位	田中光顕 (宮内大臣從二位勲一等子爵) /御璽	長崎省吾	從四位勲二等		443 1	
	明治38年5月11日	愛知岐阜福井石川富山五県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		443 2	
	明治38年5月30日	銀杯一個 右本会事務ニ鞅掌シタル廉ニヨリ之ヲ贈与ス	臨時博覧会事務局	長崎省吾	評議員		457 4	
	明治38年6月27日	韓国皇帝陛下ヨリ贈与シタル勲一等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス	大給恒 (賞勲局総裁從二位勲一等子爵)	長崎省吾	調度局長兼宮中顧問官式部官宮内大臣秘書官正四位勲二等		294	
	明治38年7月22日	米国来賓接待員被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		443 3	
	明治38年7月27日	京都府及兵庫県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		443 4	
	明治38年10月7日	日光へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		443 5	
	明治38年10月26日	明治三十九年度皇室予算会議委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		443 6	
	明治38年11月12日	神宮御参拝供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		443 7	
明治38年12月1日	明治三十七八年戦役ノ際報國ノ旨意ヲ以テ従軍者家族扶助ノ為メ金二十五円寄付候段奇特ニ候条其賞トシテ木杯壹個下賜候事	千家尊福 (東京府知事正三位勲三等男爵)	長崎省吾	正四位勲二等		457 5		
明治39年 (1906)	明治39年1月15日	長崎宮崎鹿児島三県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		444 1	
	明治39年1月20日	英国皇族プリンス、アーサー、オヴ、コンノート殿下來航ニ付接待員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		444 2	
	明治39年2月25日	京都府及静岡愛知広島山口長崎鹿児島六県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		444 3	
	明治39年3月12日	栃木県下日光へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		444 4	
	明治39年4月1日	天佑ヲ保有シ万世一系ノ帝祚ヲ踐タル日本国皇帝ハ調度局長正四位勲二等長崎省吾ヲ明治勲章ノ勲二等ニ叙シ旭日重光章ヲ授与ス即チ此位ニ属スル礼遇及ヒ特權ヲ有セシム	大給恒 (賞勲局総裁從二位勲一等子爵) /御名御璽	長崎省吾	調度局長正四位勲二等	勲記箱 (木箱)	658	
	明治39年6月1日	明治三十七八年戦役本社救護事業ノ実施ニ際シ尽力セラルル所尠カラス仍テ金製時計一個並酒肴料ヲ贈与シ其篤志ヲ謝ス	載仁親王 (日本赤十字社総裁)	長崎省吾	理事		447 7	
	明治39年11月13日	明治四十年皇室予算会議委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		444 5	
	明治39年11月19日	貞愛親王殿下英国へ被差遣ニ付随行被仰付 ※伏見宮貞愛親王 イギリス・ガーター勲章答礼使として[出国:明治40年(1907)2月12日 帰国:明治40年(1907)7月14日]	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		444 6	
明治40年 (1907)	明治40年11月12日	茨城県下行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	宮内大臣秘書官		469 1	
	明治40年11月25日	韓国答礼大使接待員被仰付	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		475 1	
	明治40年11月28日	普魯西赤十字第三等記章		長崎省吾	宮中顧問官		国立公文書館 勲00189100	
	明治40年11月30日	京都府及静岡山口両県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		475 2	
	明治40年12月3日	明治四十一年度皇室予算会議委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		476	
	明治40年12月20日	日光へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	宮中顧問官		477	
	明治40年12月23日	東宮御所裝飾品取調委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度局長		478	
明治41年 (1908)	明治41年4月25日	昌子内親王御婚儀御用掛被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		469 2	
	明治41年4月30日	叙勲一等授瑞宝章	賞勲局	長崎省吾	調度頭兼宮中顧問官式部官宮内大臣秘書官正四位勲二等		469 3	
	明治41年6月23日	賜一級俸	宮内省	長崎省吾	調度頭		469 4	
	明治41年6月23日	依願免宮内大臣秘書官	田中光顕 (宮内大臣伯爵):宣	長崎省吾	調度頭兼宮中顧問官式部官宮内大臣秘書官		469 5	
	明治41年6月23日	陞叙高等官一等	田中光顕 (宮内大臣從二位勲一等子爵):奉/御璽	長崎省吾	調度頭正四位勲一等		469 6	
	明治41年7月21日	御用有之欧洲へ被差遣	宮内省	長崎省吾	調度頭		479	
明治42年 (1909)	明治42年2月25日	北白川宮御用掛被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		470 1	
	明治42年3月20日	神戸へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		470 2	
	明治42年4月23日	日英博覧会評議員被仰付	内閣	長崎省吾	正四位勲一等		470 3	
	明治42年4月30日	周宮御用残務取扱被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		470 4	
	明治42年7月17日	周宮御用残務取扱被免	宮内省	長崎省吾	調度頭		470 5	
	明治42年9月1日	[辞令 日本赤十字社篤志看護婦人会顧問]	載仁親王妃智恵子 (日本赤十字社篤志看護婦人会総裁)	長崎省吾			480	
	明治42年11月2日	栃木県下行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		470 6	

長崎省吾 辞令等

	年月日	辞令	作成者	宛先	役職	付属資料	資料番号	備考
	明治42年11月30日	明治四十三年度皇室予算会議委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		481	
明治43年 (1910)	明治43年2月4日	崑山会名誉会員へ推薦ス	三宅康寧(崑山会会長 従三位子爵)	長崎省吾			489	
	明治43年5月19日	依願北白川宮御用掛被免	宮内省	長崎省吾	調度頭		471	1
	明治43年9月28日	清国載洵殿下来航ニ付接伴員被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		471	2
	明治43年9月28日	群馬県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		471	3
	明治43年10月26日	長崎広島福岡三県下へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		471	4
	明治43年11月7日	岡山県下行幸供奉被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		471	5
	明治43年11月16日	明治四十四年度皇室予算会議委員被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		471	6
	明治43年12月10日	兼任別当 叙高等官二等	渡辺千秋(宮内大臣 従二位勲一等子爵):奉/ 御璽	長崎省吾	調度頭兼宮中顧問官 式部官従三位勲一等		471	7
	明治43年12月10日	閑院宮附被仰付	宮内省	長崎省吾	別当		471	8
明治44年 (1911)	明治44年3月31日	貴殿本会会務ニ付功勞不鮮総裁威 仁親王殿下御満足ニ被思召茲ニ台 命ヲ奉シ銀杯壺組ヲ贈進ス	花房義質(神苑会会頭 子爵)	長崎省吾			490	
	明治44年5月1日	明治四十三年八月府下水害ノ際罹 災窮民救恤トシテ金二十二円寄付 候段奇特ニ付其賞木杯壺個下賜候	阿部浩(東京府知事 従三位勲二等)	長崎省吾	従三位勲一等		488	3
	明治44年5月13日	京都及舞子へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		482	
	明治44年6月7日	銀杯壺組 右日英博覧会事務ニ執 掌シタル廉ニ依リ之ヲ贈与ス	農商務省	長崎省吾	元日英博覧会評議委 員		491	
	明治44年6月20日	東宮御所裝飾品取調委員被免	宮内省	長崎省吾	調度頭		471	9
	明治44年7月24日	舞子へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		471	10
	明治44年12月15日	明治四十三年八月水害ノ際東京府 外十四県罹災者救恤トシテ金二十 円寄付候段奇特ニ付為其賞木杯一 個下賜候事	阿部浩(東京府知事 従三位勲二等)	長崎省吾	従三位勲一等		488	4
大正元年 (1912)	大正元年8月1日	用度部長儀式部員ヲ命ス	大喪使	長崎省吾	大喪使事務官		472	1
	大正元年11月1日	青森県青森市火災ノ際罹災者救恤 トシテ金十五円施与候段奇特ニ付 為其賞木杯一個下賜候事	武田千代三郎(青森県 知事正四位勲三等)	長崎省吾	従三位勲一等		492	1
	大正元年11月8日	残務取扱ヲ命ス	内閣	長崎省吾	元大喪使事務官		472	2
	大正元年11月9日	海軍大演習觀艦式御親閱行幸供奉 被仰付	宮内省	長崎省吾	式部官		472	3
	大正元年11月11日	京都へ出張被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		472	4
大正2年 (1913)	大正2年3月30日	金二百円 右事務勳励ニ付賞賜ス	内閣	長崎省吾	元大喪使事務官		473	1
	大正2年5月1日	忌引ヲ免ス	宮内省	長崎省吾	調度頭		473	2
	大正2年8月10日	本会ノ事業ヲ翼賛シ金四百九十九 円余ヲ寄付セラル仍テ総裁貞愛親 王ノ御沙汰ニ依リ敬テ謝意ヲ表ス	桂太郎(恩賜財団済生 会会長正二位大勲位功 三級公爵)	長崎省吾			493	
	大正2年9月30日	御用有之歐洲へ被差遣	宮内省	長崎省吾	調度頭		473	3
	大正2年11月22日	大札準備委員被免	宮内省	長崎省吾	調度頭		473	4
	大正2年12月22日	加賜年俸五百円	宮内省	長崎省吾	調度頭		473	5
大正3年 (1914)	大正3年1月1日	通常会計分任官ヲ命ス	宮内省	長崎省吾	調度頭		474	1
	大正3年1月1日	海外出張中現金前渡官吏ヲ命ス	渡辺千秋(宮内大臣 伯爵)	長崎省吾	調度頭		496	
	大正3年4月12日	用度部長ヲ命ス	大喪使	長崎省吾	大喪使事務官		483	
	大正3年6月27日	宮内官分限令第六條第一功第四号 ニ依リ休職被仰付	宮内省	長崎省吾	調度頭		474	2
	大正3年6月27日	免式部官別当	波多野敬直(宮内大男 爵臣):奉	長崎省吾	調度頭兼宮中顧問官 式部官別当		474	3
大正3年6月29日	帝室技芸員選抜委員被免	宮内省	長崎省吾	休職調度頭		474	4	
大正4年 (1915)	大正4年7月8日	日本赤十字社諸規則改正案調査委 員ヲ囑託ス	花房義質(日本赤十字 社長子爵)	長崎省吾	理事		484	1
	大正4年10月1日	大正三年一月十二日鹿児島県下 島爆発ノ際罹災者救恤トシテ金五 十円施与候段奇特ニ付為其賞木杯 一個下賜候事	高岡直吉(鹿児島県知 事従四位勲三等)	長崎省吾	従三位勲一等		492	2
	大正4年11月9日	[認可状 大正3年度通常会計前渡 金出納計算審査]	松室致(帝室会計審査 局長官)	長崎省吾	内蔵頭所属現金前渡 官吏調度頭/調度頭 所属現金前渡官吏調 度頭		485	証明計算の審査を遂げ認可。2枚は同日同文で長崎の肩書(内蔵頭所属と調度頭所属)のみ異なる
	大正4年12月15日	大正二年北海道外六県凶作及同三 年鹿児島県桜島爆発ノ際罹災窮民 へ金二十七円余賑恤候段奇特ニ付 為其賞木杯一個下賜候事	俵孫一(北海道庁長官 従四位勲三等)	長崎省吾	従三位勲一等		492	3
大正5年 (1916)	大正5年1月19日	天佑ヲ保有シ万世一系ノ帝祚ヲ踐 タル日本国皇帝ハ従三位勲一等長 崎省吾ヲ明治勲章ノ旭日大綬章ヲ 授与ス即チ此位ニ属スル礼遇及ヒ 特権ヲ有セシム	正親町実正(賞勳局総 裁従二位勲三等)/御 名御璽	長崎省吾	従三位勲一等	勲記箱 (木箱)	659	
大正8年 (1917)	大正8年9月1日	明治神宮外苑ノ事業ヲ翼賛シ金員 ヲ献納セラル仍テ総裁宮殿下ノ台 閣ニ達シ通常会員ニ列シ奉賛章ヲ 贈ル	徳川家達(明治神宮奉 賛会会長正二位勲一等 公爵)	長崎省吾		492	4	
大正13年 (1918)	大正13年5月25日	本会委員会ノ選定ニ依リ貴下ヲ本 会相談役ニ推薦致シ候間就任ノ上 会務御尽力相煩度此段得貴意候	黒田清輝(麹町区公民 会長子爵)	長崎省吾			486	
	大正13年8月30日	救護員行賞銓衡委員ノ囑託ヲ解ク	平山成信(日本赤十字 社長男爵)	長崎省吾	理事		487	

昭和12年(1937)2月6日薨去〔正三位勲一等(官報より)〕